

さくらっ子

輝くこころ 輝くひとみ 輝くからだ

三春町立中郷小学校だより

No. 4

H28. 6. 6

発行責任者 校長 橋本一弥



体験を通して生き生きと学習！

人は体験を通してこそ本当の学びができるといわれます。今年も活動しやすい5月～6月のこの時期に学校を離れての体験学習を実施しています。6学年の修学旅行では、学習の場を東京に移し、1泊2日の日程で国立科学博物館やキッズニア東京をはじめとする様々な学習施設を訪れ、貴重な学びをすることができました。これまで学んできたマナーを実践しながら協力して行動し、思い出深い2日間となりました。また、1～3学年は、郡山自然の家を訪れる遠足を行いました。雨となりましたが、雨に備えて組んでいた屋内サーキットで体を動かしたり、押し花アートづくりをしたりして楽しく活動してきました。

体験を通して学んだことは、頭の中だけでなく心の奥まで届いているようです。なお、4、5年生は6月8日から2泊3日の予定で、いわき市にあるいわき海浜自然の家で宿泊学習を行います。



人気の高かったソニーエクスプローラーサイエンス



室内サーキットで体を動かす



東京タワーから夜景を見下ろす



屋外で採集・観察活動



キッズニア東京で貴重な職業体験



押し花のうちわづくり

がんばろう自主学习！

家庭での学習を推奨し、努力する姿勢を広げるために、自主学习で使い終えたノートを展示しています。5月末の時点で10人を超える児童がノート1冊目を終わっています。展示されたノートを目にすることで他の児童のよい学習の仕方を学びとる児童も多く、ノートが増えた先日は、登校後に展示コーナーに足をとめる児童が多くみられました。

児童一人ひとりが、よりよい学習の仕方を取り入れるなど工夫しながら、継続して取り組んでほしいと思います。



万が一に備えて

学校に不審者が侵入したことを想定した避難訓練を6月2日に実施しました。訓練では、職員が不審者に対応する間に、集団で安全な場所へ移動して身を守る方法を確認しました。

事後の学習では、講師として招いた田村警察署の方々から一人で不審者に出会ってしまった時の身の守り方を具体的に教えていただきました。「いかのおすし」を合言葉にこれまで学んできたことが身につけていることが確認でき、有意義な学習となりました。



子どもをたくましく育てるために

「なかさとお子キャッチフレーズ」に関わって、子どもたちをより「たくましく」育てていくヒントになればと、日頃考えていることをお伝えしていきたいと思います。

その1 自分の事を自分でする習慣を育てましょう①

昔から「自分の事は自分で」させることが大切、と言われるものの、わかっていながらなかなかさせられない状況もあるように思います。小学校の段階で期待したい「自分の事は自分で」ということにはどのようなことがあるのでしょうか。

- ・朝、起きる（目覚ましを使ってよい）
- ・顔を洗う
- ・衣服を着る
- ・宿題に取り組む、翌日の準備をする
- ・風呂に入る、洗髪をする
- ・洗顔や歯磨きをする
- ・定時に学校に向かう
- ・食事をする
- ・定時に就寝する など

これらの中で多くのことに家族の手が入っているようであれば、習慣化されている段階にはないと思います。子育ての中で、幼児期にはかなり保護者が関わってきたこれらの部分も、小学校の発達段階ではできるだけ早く自身の力でできるようにさせたいものです。

習慣化させるためにはいくつかの工夫やポイントがあるようです。

- ① 子どもと時間をとって話し合う（やはり動機付けが必要です）
- ② がんばっていることを賞讃する

（カレンダーに○をつけたり、シールを貼ったりすることもいい工夫ですね）

- ③ がまんして見守る（家族にも手を出さないと見守るがまんが必要です）

子どもは家族の中で注目の的で、いつまでも関わりたくて手を出してしまいがちですが、自立のために、「やらせて見守る」家族の姿勢が非常に大切になります。家族みんなが同じ姿勢で接することができるよう、家族内での「作戦会議」も大切だと思います。